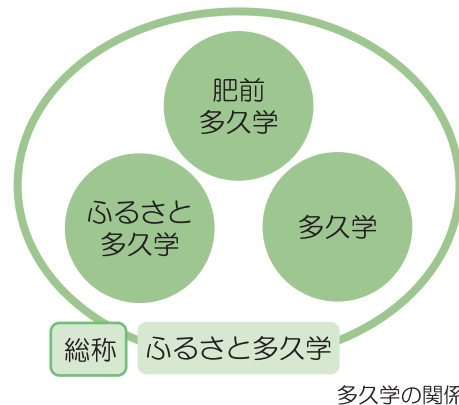


新たな視点「ふるさと多久学」

市内で取り組まれている「多久学」の視点を通じて文化財の把握をすすめます。また多久学の考えは、多久聖廟を継承してきた歴史から、「人づくり」が重要なテーマの一つであり、多久の特色であることを示しています。

多久学の種類	主体となる担い手	活用対象の捉え方	歴史文化の広がり
肥前多久学	郷土資料館	多久聖廟と周辺の歴史 先覚者の業績・人物史	限定的
ふるさと多久学	中央公民館 各町公民館	郷土の歴史や自然	市域全体
多久学	義務教育学校	郷土の歴史、 人・もの・こと 論語（道徳教育）	市域全体



「多久市生涯学習のまちづくり推進計画」



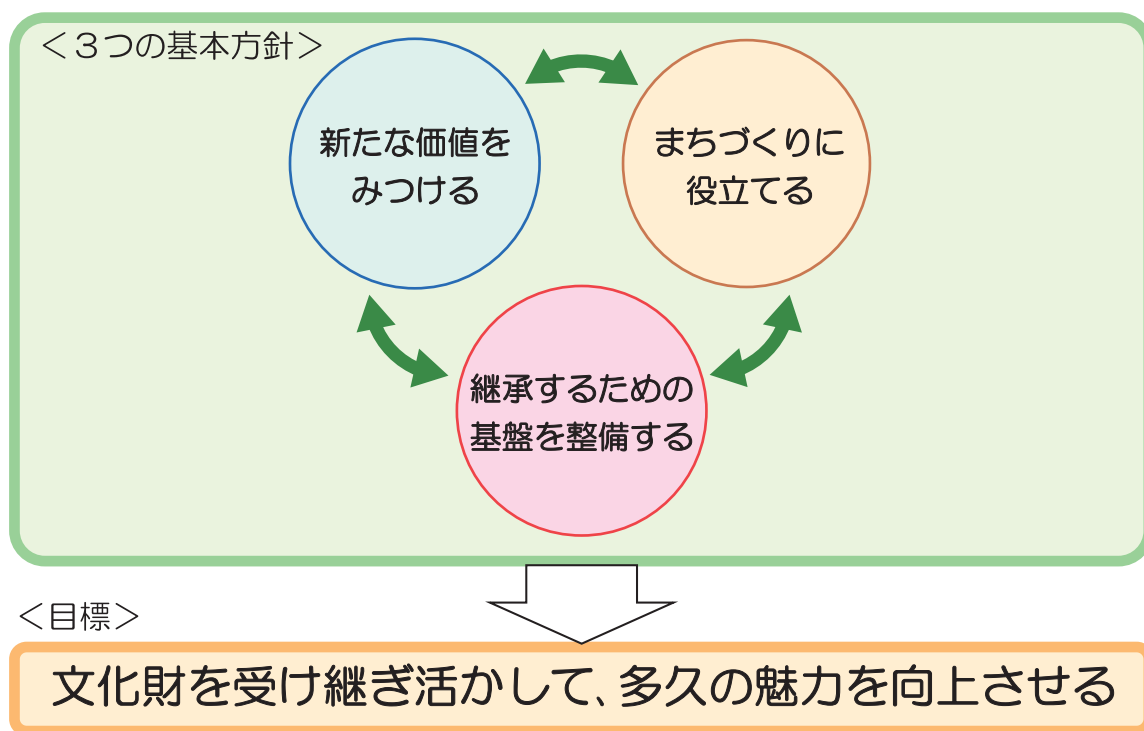
「多久学・論語教育」



百人一首式論語カルタ

歴史文化を活かしたまちづくりへ

多久市歴史文化基本構想では、以下の基本方針と目標を定めます。基本方針は互いに取り組みの方向性を関連させながらすすめる、相互の向上によって目標の達成を目指していきます。



基本方針 1

文化財を総合的に把握し、
新たな価値をみつける

●「ふるさと多久学」の深化

これまでの個別的な文化財把握が、「ふるさと多久学」の視点によって新たなテーマや、まとまりとして捉えられます。多くの市民に「ふるさと多久学」を広げ、ともに歴史文化への理解を深めていくよう推進します。

●文化財の掘り起しと未指定文化財の計画的な指定・登録

新たな価値を見出すために、広域的な情報収集や関係団体等との連携を図り、地域との意識の共有化を進めます。

●文化財と周辺環境の一体的把握

文化財とその周辺環境の関連性をきめ細かに調査把握し、文化財の価値を高めます。

●文化財の修理・補修

所有者や市民からの情報提供などをもとに修理・補修の専門技術者との連携を図り、文化財の状態を調査して必要な修理などの予算措置を図ります。

基本方針 2

文化財を守り、
継承するための基盤を
整備する

●担い手の役割

文化財を守り継承する担い手として、市民・行政・学校・活動団体に協力を求め、それぞれの立場や役割に応じた活動の拡充を図ります。

●協働の場づくり

担い手による相互の交流・連携機会を設け、活動上の課題などを協議し、また協力依頼や支援により活動に反映できる場をつくります。

●歴史文化の担い手情報の整備

文化財に関わる担い手の活動内容や成果など、情報を把握しデータベース化を図ります。活動の前例として他の活動団体への助言等が可能となります。

●担い手の育成と活動資金

行政は、市民への啓発、団体への支援、学校への協力を通じて担い手育成の取り組みを進めます。また活動団体等には次世代を担う人材の育成や、活動資金確保の取り組みを継続して頂きます。

●文化財活用諸施設と環境の整備

現在、多久聖廟と周辺区域や、西溪公園と郷土資料館、くど造り民家の周辺と隣接のふるさと情報館等が整備されています。文化財とまちづくりを連動させて魅力的な地域空間の創出と、充実した観光施設等整備の推進を図ります。

基本方針 3

文化財を効果的に活用して、
まちづくりに役立てる

●歴史文化を活用した学校教育・生涯学習の拡充

子どもたちが市内の歴史文化に興味を持ち、文化財サポーターや担い手になってもらい、また魅力ある人間形成のために歴史文化を学ぶ教育プログラムの拡充を図ります。そのほか、文化財の見守り・清掃・語りのボランティア活動や、高齢者の生きがい対策にも活用できる企画、また親子参加イベントを推進します。

●公開と情報発信

公開方法などを検討し、多くの文化財を公開することにより、多久の魅力向上を図り教育・観光の柱としていきます。多様な媒体を通じて、歴史文化を継承する地域、担い手の活動、そのほか総合的な情報発信に取り組みます。